

● 第13回 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム ●



【写真提供：広島県】



大学連携による グローバル人材育成



【写真提供：広島県】



開催日時

2016(平成28)年
9月10日(土) 13:00~20:15
11日(日) 9:30~11:30

開催場所

エリザベト音楽大学
広島国際大学 広島キャンパス

共催 全国大学コンソーシアム協議会
一般社団法人教育ネットワーク中国
後援 文部科学省 総務省 経済産業省
一般社団法人国立大学協会 一般社団法人公立大学協会
一般社団法人日本私立大学連盟 日本私立大学協会
全国公立短期大学協会 日本私立短期大学協会
全国知事会 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞社
日本経済新聞社 共同通信社 中国新聞社 広島県 広島市

大学連携によるグローバル人材育成

開催日

2016(平成28)年

9月10日(土) 13:00~20:15 / 11日(日) 9:30~11:30

開催場所

フォーラム エリザベト音楽大学

ポスターセッション [最寄] JR 広島駅南口徒歩約 12 分

情報交換会 広島国際大学 広島キャンパス

分科会 [最寄] JR 広島駅南口徒歩約 10 分、エリザベト音楽大学に隣接

大会趣旨

地方都市と大都市圏との経済格差が拡大し、急速な少子高齢化と若者の地方からの流出により地域経済が縮小し、人口減少を加速させている状況があります。政府は「地方創生」の政策論議を活発に行い、文部科学省は地方大学の活性化を目指す諸政策を講じてきました。特に「COC プラス」では、「地域活性化政策を担う自治体、人材を受け入れる地域の企業や地域活性化を目的に活動する NPO や民間団体等と協働して、地方を担う人材育成に取り組む大学」を支援しています。そして新しい内閣では「一億総活躍」がキーワードとなり、文部科学省は「一億総活躍社会を担う『人づくり』、未来の可能性を拓く『知の形成』、それらを支える『社会システムの変革』」に取り組むとし(2015年11月)、高等教育機関の人材育成の役割はますます大きくなっています。

しかしながら地(知)の拠点であるはずの多くの地方大学は、様々な意味でゆとりがあるわけではなく、とりわけグローバル人材の育成については、中小規模の大学が単独で教育を行うことには限界があります。近年、高等学校までの初等中等教育機関における英語教育をはじめとするグローバル教育が盛んになり、大学に求められるグローバル人材育成は、ますます幅広く深化させた内容でなければならなくなりました。大学全体として教育の質や就職率等の向上を目指す取組を充実させ、地域社会の指導的な人材を育成したうえで、地域の状況に応じた諸外国(の人々)と積極的に関わる事が可能な有用な人材、あるいは世界に羽ばたき飛び出す人材を養成するためには、大学間、企業、

そして行政を含む地域社会との連携による教育活動が不可欠と考えられます。

2012(平成24)年度より広島県は、「県内大学が連携し、それぞれの特色や強みを活かし、社会が求めるグローバル人材等を育成するなど、充実した教育環境を構築するため、県内の複数大学が産業界等と連携して行う新たな教育プログラムの開発・実施を支援する」ことを目的として、大学生(高校生含む)および一般社会人を対象としたグローバル人材育成などの教育プログラムを作成する大学に対して補助金を出しています。そのプログラムは、教育ネットワーク中国の単位互換科目として提供され、複数大学の学生が受講可能です。さらに県内大学が共用で使用するサテライトキャンパスにおいて授業を行うことを原則としており、プログラムの審査にも教育ネットワーク中国が関わっています。

「地方創生」「一億総活躍」とともに、地域に根差す高度人材養成を大学がどのように行うかが問われています。大学コンソーシアムは、大学が連携・協力して、それぞれがもつ資源を相互に提供し合う形で大学を活性化させ、学生を育成し、地域社会に貢献する核とならねばなりません。今回の全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムにおいては「グローバル人材育成」に焦点をあて、大学、また、企業との連携の取組を、大学コンソーシアムはどのように支援し、あるいは先導するかについて、皆さんと活発に議論を行い、大学コンソーシアムのさらなる発展につなげたいと願っています。

プログラム

第1日目 ● 2016(平成28)年 9月10日(土)

11:30			
12:00	11:30~13:00 受付	エリザベト 音楽大学 1号館 1階 ロビー	12:00~12:30 全国大学コンソーシアム 協議会 総会
12:30			エリザベト 音楽大学 333 教室
13:00			12:00~13:00 コアタイム
13:00	13:00~13:20 奏楽 (パイプオルガン演奏) 佐々木 悠 (エリザベト音楽大学 専任講師)		
13:20	挨拶 協議会代表幹事挨拶 開催地代表者挨拶 川野 祐二 (一般社団法人教育ネットワーク中国 代表理事、エリザベト音楽大学理事長・学長)		12:00~15:15 ポスター セッション エリザベト 音楽大学 2号館 1階 ロビー
13:20	13:20~14:20 基調講演「広島県における人材育成について(仮題)」 講演者 湯崎 英彦 (広島県知事)		
14:20			14:20~15:15 コアタイム
15:15	15:15~17:30 シンポジウム シンポジスト 長坂 康史 (一般社団法人教育ネットワーク中国 運営委員、広島工業大学 教授・情報学部長) 須原 俊男 (マツダ株式会社人事室グローバル人事グループ マネージャー) 阿久根昌夫 (一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 事務局長) 太田 克司 (広島県環境県民局 大学教育振興担当課長) コーディネーター 志々田まなみ (一般社団法人教育ネットワーク中国 運営委員、広島経済大学経済学部 教授)	エリザベト 音楽大学 セシリアホール	
17:30	17:30~18:00 文教行政報告「高等教育政策の動向について」 角田 喜彦 (文部科学省高等教育局大学振興課長)		
18:00			
18:15	18:15~18:45 会場移動 および 情報交換会受付		広島国際大学 1階 ロビー
18:45	18:45~20:15 情報交換会		広島国際大学 15階 幟町カフェ
20:15			

第2日目 ● 2016(平成28)年 9月11日(日)

9:00	9:00~9:30 受付	広島国際大学 1階 ロビー
9:30	9:30~11:30 分科会 (詳細は 5 ~ 6 ページをご覧ください)	広島国際大学 第1分科会 (3階 300教室) 第2分科会 (4階 400教室) 第3分科会 (8階 801教室) 第4分科会 (8階 804教室)
11:30		

基調講演

広島県における人材育成について(仮題)

広島県の高等教育、大学連携における取組を中心に、人材育成に係る施策展開などについて講演する。



基調講演者
湯崎 英彦 氏
広島県知事

略歴 1965年10月 広島県生まれ
1990年3月 東京大学法学部卒業
1995年6月 スタンフォード大学経営学修士
1990年4月 通商産業省 入省
2000年3月 通商産業省 退官
2000年3月 株式会社アッカ・ネットワークス 代表取締役
2000年12月 同社 代表取締役副社長
2008年3月 同社退任
2009年11月～ 広島県知事

シンポジウム

大学連携によるグローバル人材育成

大学が、地域のニーズに根差しながらグローバルに活躍する人材を養成するためには、大学間だけではなく企業や行政との連携も不可欠です。また、それを牽引、支援する役割が大学コンソーシアムに求められてもいます。

今回は、行政、企業、大学それぞれの立場から、「グローバル人材育成」の課題や展望について情報提供いただき、それを通じて大学コンソーシアムの今後のあり方について皆さんと議論をしていきたいと思っております。

大学連携による新たな教育プログラム 「グローバル化時代のものづくり技術者像」の取組み

ながさか やすし
長坂 康史 氏

一般社団法人教育ネットワーク中国 運営委員
広島工業大学情報学部 教授・情報学部長

1966年山梨県生まれ。1994年3月筑波大学大学院物理学研究科博士後期課程修了、博士(理学)取得。文部省高工エネルギー物理学研究所、長崎総合科学大学を経て、2001年4月に広島工業大学工学部助教授として着任。2008年10月に情報学部教授、2013年4月より現職。専門は情報工学(情報通信ネットワーク)。



企業におけるグローバル人材育成の取組み

すはら としお
須原 俊男 氏

マツダ株式会社人事室
グローバル人事グループ マネージャー

愛知県名古屋出身。名城大学理工学部を卒業後、1991年4月マツダ株式会社入社。知的財産部に特許係業務や知財契約業務等を担当。2014年4月から開発管理部主幹としてR&D領域の人事制度改革を担当。2015年11月から現職。



大学コンソーシアムひょうご神戸の グローバル人材育成事業 ～「ひょうご留学生インターンシップ」と就職支援活動について～

あくねまさお
阿久根昌夫 氏

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事務局長

熊本県出身。熊本大学工学部を卒業後、1973年日本アイ・ビー・エム株式会社入社、西日本営業本部でシステムエンジニア、営業課長、営業本部スタッフ、地域有識者会議事務局、財界活動スタッフなどを歴任。2009年大学コンソーシアムひょうご神戸でコーディネーターとして文科省プロジェクト「ひょうご留学生インターンシップ」を担当し、2011年から事務局長を兼任し、2016年4月から現職。



広島県の大学連携施策

おおた かつし
太田 克司 氏

広島県環境県民局
大学教育振興担当課長

1962年広島県生まれ。1984年3月広島大学法学部卒業。同年4月広島県に採用。以来、環境保健部、警察本部、商工労働部、総務部、教育委員会、企画振興局等を経て、2013年4月環境県民局学事課大学管理担当監、2016年4月から現職。



コーディネーター

ししだ
志々田まなみ 氏

一般社団法人教育ネットワーク中国 運営委員
広島経済大学経済学部 教授

1975年、愛知県生まれ。広島大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学後、2004年4月に広島経済大学経済学部講師として着任。2015年4月より現職。2015年10月より広島県教育委員会委員に就任。専門は教育学(生涯学習論、社会教育学)。



高等教育政策の動向について

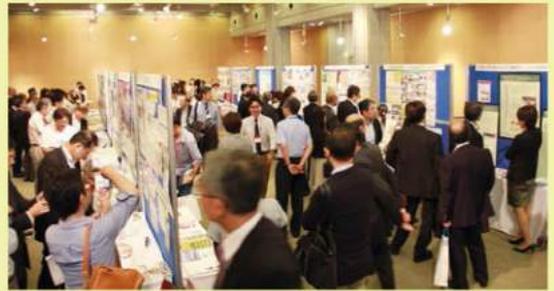


報告者
かくた よしひこ
角田 喜彦氏
文部科学省高等教育局大学振興課長

略歴 1991年4月 文部省入省
2011年4月 (独) 日本学術振興会総務部長
2013年7月 官房付(併) 内閣官房内閣参事官
2016年6月～ 現職

ポスターセッション

ポスターセッションでは、全国のコンソーシアム組織の先進的な事例や活動状況を紹介しています。また、今回は様々な活動を行っている企業からも出展いただきます。実践的な取組や色々な情報を収集いただく場として、ぜひご活用ください。



日時 9月10日(土) 12:00～15:15
コアタイム 12:00～13:00 および 14:20～15:15
場所 エリザベト音楽大学 2号館 1階ロビー

分科会 2016(平成28)年 9月11日(日)

第1 分科会

〈公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩〉
社会で真に通用する「グローバル人材」の育成法と課題

会場
広島国際大学
3階300教室

大学のグローバル化は産業のグローバル化と無縁ではない。大学にとって重要な「出口戦略」である人材を社会に供給するという絶対的的使命の中に、社会にとって真の人材とは何かを、真剣にとらえる必要がある。日本の経済的プレゼンスの急低下を目の当たりにする状況下で、「お遊びではない」議論が行われてしかるべき時です。企業が真に求める「グローバル人材」とは何かを実地体験を踏まえて、「地に足がついた」議論を展開します。実際にグローバル化を進めている企業トップの経験と JICA で経験した様々な事例を通して、「真に通用するグローバル人材」とは何かを考えます。

報告者

ITによる国際化とグローバル人材の活用

松橋 卓司氏 (株式会社メトロール 代表取締役社長)

JICA から見た真のグローバル人材

小川 正純氏 (JICA 専任参事、中央大学 国際センター・国際プログラムコーディネーター、
中央大学大学院公共政策研究科 客員教授)

コーディネーター

細野 助博氏 (学術・文化・産業ネットワーク多摩 専務理事、中央大学 教授)

①タイムスケジュール

9:30～9:40 (10分)	趣旨説明
9:40～10:10 (30分)	ITによる国際化とグローバル人材の活用
10:10～10:40 (30分)	JICA から見た真のグローバル人材
10:40～11:00 (20分)	大学に望むこと
11:00～11:30 (30分)	フロアとの意見交換



分科会

2016(平成28)年
9月11日(日)

第2 分科会

〈特定非営利活動法人 南大阪地域大学コンソーシアム〉

大学を取り巻く環境の変化に対応する大学連携によるFD・SDのあり方を探る

会場

広島国際大学
4階400教室

高等教育を取り巻く環境が大きく変化し、大学では社会的要請として即戦力となる学生の輩出が求められる中で、こうした変化に対応するために大学ではFD・SDによる教職員の意識改革、変化に対応するスキルなどの研修を実施してきた。本分科会では、こうした環境の変化に対応すべく大学が連携して実施しているFD・SDの実践事例について学ぶ中で、新たに求められる現代的課題に対応すべくFD・SDについて、共に考えていきたい。

報告者

中長期計画に基づくFD・SDの事例発表

柳生 真一氏 (南大阪地域大学コンソーシアム FD・SD 部会)
ミドルリーダー1期生、羽衣国際大学

障害のある学生支援の事例発表

生谷 謙次氏 (大学コンソーシアム京都 学生交流事業部 次長)

教員の認識を変えるためのFDの事例発表

山川 修氏 (福井県学習コミュニティ推進協議会 (Fレックス) 会長、)
福井県立大学学術教養センター 教授

コーディネーター

長瀬 美子氏 (南大阪地域大学コンソーシアムFD・SD 部会長、)
大阪大谷大学教育学部 教授

①タイムスケジュール

9:30~10:00 (30分)	中長期計画に基づくFD・SDの事例発表 (南大阪地域大学コンソーシアム)
10:00~10:30 (30分)	障害のある学生支援の事例発表 (大学コンソーシアム京都)
10:30~11:00 (30分)	教員の認識を変えるためのFDの事例発表 (福井県学習コミュニティ推進協議会 (Fレックス))
11:00~11:25 (25分)	意見交換
11:25~11:30 (5分)	まとめ

第3 分科会

〈公益社団法人 大学コンソーシアム石川〉

地域連携事業の現状と今後のあり方

会場

広島国際大学
8階801教室

近年、ゼミナールの地域に根差した研究活動や学生グループの地域貢献活動が、全国的に展開されるようになりました。その活動は年々充実・拡大し、各高等教育機関にも地域連携部門が設立され、夫々が自治体と連携協定を締結するなど、自立する方向にあります。

この分科会では、石川県内の地域連携事業の事例を紹介し、グローバルとローカルの両面から今後の指針を討議します。

報告者(兼パネラー)

石川県の地域連携事業概要について

榎本 俊樹氏 (大学コンソーシアム石川 地域連携専門部会長、石川県立大学生物資源環境学部)
食品科学科 教授、石川県立大学産学官連携学術交流センター長

地域課題研究ゼミナールについて

谷 明彦氏 (金沢工業大学環境・建築学部建築デザイン学科 教授、)
金沢工業大学地域計画研究所長

地域貢献型学生プロジェクトについて*学生からの報告も予定

武田 幸男氏 (大学コンソーシアム石川 運営委員会副委員長、北陸大学未来創造学部)
国際マネジメント学科 教授、北陸大学地域連携センター長

コーディネーター

池田 幸應氏 (大学コンソーシアム石川 運営委員会委員、)
金沢星稜大学 学長補佐・人間科学部 スポーツ学科 教授

①タイムスケジュール

9:30~9:45 (15分)	分科会紹介・石川の地域連携事業概要
9:45~10:15 (30分)	事例発表① 【地域課題研究ゼミナール】
10:15~10:45 (30分)	事例発表② 【地域貢献型学生プロジェクト】
10:45~10:55 (10分)	休憩
10:55~11:30 (35分)	パネルディスカッション

第4 分科会

〈公益財団法人 大学コンソーシアム京都〉

留学生に対する就職支援・キャリア支援

会場

広島国際大学
8階804教室

留学生の就職については、各企業におけるグローバル対応の強化の必要性や更なる留学生誘致の促進を図るため、各地域で様々な取組が進められています。しかしながら、卒業・修了した留学生の国内での就職が3割程度にとどまるなど、留学生の就職を取り巻く環境については依然として課題が多いと考えられます。

この分科会では、全国でも特に就職支援、キャリア支援に関して積極的な取組を展開されている事例や直近に京都において行った留学生の就職阻害要因調査の結果を踏まえ、大学間連携組織での望ましい支援の在り方について考えていきたいと思えます。

報告者

「ひょうご留学生インターンシップ」と「留学生就職支援」

山崎智佳子氏 (大学コンソーシアムひょうご神戸)

間 一帆氏 (株式会社ロック・フィールド 西日本販売本部)
兵庫県立大学大学院会計研究科 2016年3月卒

留学生就職支援・交流コミュニティの取組

今本壘依子氏 (大学コンソーシアム京都)

留学生の就職阻害要因調査について

中谷 真憲氏 (グローバル人材開発センター専務理事、京都産業大学法学研究科 教授)

コーディネーター

中谷 真憲氏 (グローバル人材開発センター専務理事、京都産業大学法学研究科 教授)

①タイムスケジュール

9:30~10:00 (30分)	事例報告 (元留学生からの報告を含む) (大学コンソーシアムひょうご神戸より)
10:00~10:20 (20分)	事例報告 (大学コンソーシアム京都より)
10:20~10:40 (20分)	調査結果報告 (グローバル人材開発センターより)
10:40~10:50 (10分)	休憩 (質問票受付)
10:50~11:30 (40分)	質疑・パネルディスカッション・総括

申込方法

STEP1 申込み(先着順)

- 1 申込み URL から、「メールアドレス確認フォーム」にアクセスし、メールアドレスを登録する。
- 2 登録したメールアドレスに「参加申込フォーム」の URL アドレスが届く。
- 3 メールに記載されている URL にアクセスし、申込み手続きをする。
- 4 申込完了後、「申込み完了メール」が届く。

※申込み完了メールが届かない場合は、協議会事務局までお問い合わせください。
※申込み完了後の変更は、一切受け付けられません。
※基調講演者、シンポジスト、コーディネーター、分科会報告者の方は申込み不要です。

STEP2 参加費の支払

- 1 申込み手続き完了後、郵送で払込票が届く。
- 2 最寄りのコンビニエンスストアで参加費を支払う。

※取り扱い可能店は払込票の裏面に記載。
なお、銀行・ゆうちょ銀行などの金融機関ではお支払いができませんのでご注意ください。

【参加費支払締切】2016年8月7日(日)24:00まで

※申込み手続き・参加費支払いが完了していない方は参加できませんのでご注意ください。

お支払いいただく参加費につきましては、印刷費、WEBシステム運営費、通信費など、諸準備に使用いたしますので、いかなる理由があっても返金等には応じられません。ご了承ください。報告集の代金をお支払いいただいている場合は、欠席された方にも後日送付いたします。

STEP3 参加証の発行

参加費の支払いが完了したら、参加証がメールで届く。
※8月19日(金)になっても参加証(メール)が届かない場合は、協議会事務局までお問い合わせください。

STEP4 当日

参加証(メール)をプリントアウトのうえ持参し、受付にて提示する。
※代理の方が参加される場合は、参加証(メール)を持参し、当日の受付にてお申し出ください。

申込期間

2016年6月1日(水)～7月31日(日)

【参加費支払締切】2016年8月7日(日)24:00まで

※当日申込みは、一切受け付けできませんので、ご注意ください。

参加費

申込区分	参加費	情報交換会費	報告集	合計
参加のみ	学生	1,000円	—	1,000円
	学生以外	3,000円	—	3,000円
参加+情報交換会	学生	1,000円	4,000円	5,000円
	学生以外	3,000円	—	7,000円
参加+報告集	学生	1,000円	—	2,000円
	学生以外	3,000円	1,000円	4,000円
参加+情報交換会+報告集	学生	1,000円	4,000円	6,000円
	学生以外	3,000円	1,000円	8,000円

申込み URL (アドレス)

<https://event.consortium.or.jp/zenkoku13/>

もしくは

全国大学コンソーシアム協議会加盟組織について

全国大学コンソーシアム協議会加盟組織に属している場合、申込みの際に所属組織をご入力ください。ご所属の機関が、全国大学コンソーシアム協議会の加盟組織かどうかについては、以下のページをご参照ください。

<http://www.consortium.or.jp/project/zenkoku-conso/office>

問い合わせ先

全国大学コンソーシアム協議会事務局
(大学コンソーシアム京都内)

【受付時間】 火曜～土曜 9:00～17:00

電話 : 075-353-9100

E-mail : alljapan-consortium@consortium.or.jp

会場への アクセス



9月10日(土)

エリザベト音楽大学

〒730-0016

広島県広島市中区幟町 4-15

9月11日(日) (10日情報交換会)

広島国際大学

広島キャンパス

〒730-0016

広島県広島市中区幟町 1-5

徒歩 JR 広島駅南口から徒歩約 12 分

徒歩

JR 広島駅から城南通りを西へ進み、ロイヤルホストの先を左折。右側に広島国際大学広島キャンパスそのまま直進し、2つ目の角を右折すると、右側にエリザベト音楽大学。

市内電車またはバス「^{かなやまちょう}銀山町」下車 徒歩約 4 分

電車・バス

広島駅

広島電鉄利用 (料金 160 円) **1 号線** (広島港行き)・**2 号線** (宮島口行き)・**6 号線** (江波行き)

^{かなやまちょう}**銀山町 下車**

広島バス利用 (料金 160 円) 路線番号 **21・22・24・25・27**

^{かなやまちょう}**銀山町 下車**

全国大学コンソーシアム協議会

設立趣旨

近年、全国各地で大学連携、地域社会、産業界との連携による大学連携、大学コンソーシアムの取り組みが進められています。大学を超えた連携型教育・研究は、今やひとつの形態として高等教育の一角を担うようになりました。

また、その地に根ざす大学はもちろんのこと、地域の歴史、立地、特性を背景として設立された地域組織としての大学コンソーシアムは、いうなれば高等教育機関と地域社会とが深く結びつき、大学の発展と地域の活性化を実現する取り組みでもあります。

現在、高等教育は世界的な水準で質の保証が問われ、教育・研究は社会の評価が問われる時代でもあります。言い換えれば、社会の多様な教育ニーズに応え、特色ある教育・研究を創造することが求められています。

このような時代にあって、世界的にも高等教育を構成する重要なシステムである大学コンソーシアムは、連携でこそ実現可能な新しい学びと、知の社会還元を実現する可能性を有しています。

この様な流れの中で、発展段階にあるわが国の連携型の教育・研究の発展を目指し、各地で培ってきた「地域力」を「組織力」に換えることにより、相互に内容を共有できる新たな研究交流の場を提供していきたいという考えにもとづき、「全国大学コンソーシアム協議会」を設置しました。(2004年11月)

概要

全国大学コンソーシアム協議会は、国内各地域の大学コンソーシアム(大学連合体・大学連携組織)からなる協議会組織で、各大学コンソーシアムの情報交流・研究交流を図り、わが国の高等教育の発展に資することを目的として、2004年11月28日に28コンソーシアムからなる組織として発足しました。

事務局

【受付時間】火曜～土曜 9:00～17:00

全国大学コンソーシアム協議会事務局

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル キャンパスプラザ京都 大学コンソーシアム京都内
電話: 075-353-9100 FAX: 075-353-9101 E-mail: alljapan-consortium@consortium.or.jp